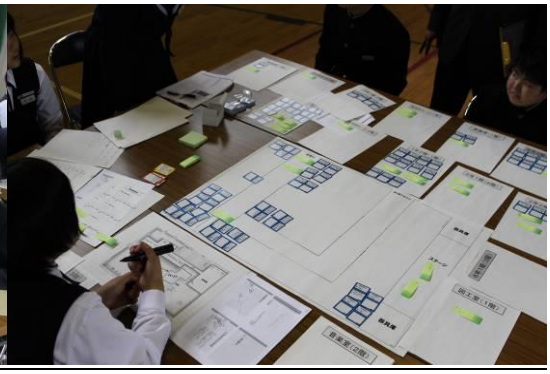
項目	内容
■取組タイトル	平成 28 年度防災教育事業「チビッ子ワンデー」
■団　体　名	白糠町
■対象災害	地震・津波に関すること
■取組対象	白糠町立庶路小学校・白糠町立庶路中学校
■概　　要	災害時における適切な知識を習得し、安全に行動できる能力を身に付ける。 防災に対する理解を深め、防災意識の向上を図ることを目標とし豊かな成長を促す。
■目　　的	「自分で考え、行動する力」を育み「事前防災＝自分の命は自分で守る」という災害の知識を身に付ける
■実施内容	期　日　平成 28 年 6 月 23 日（木） 会　場　庶路小学校・庶路中学校 庶路小 1.2 年生「災害から命を守るために」 ・北海道南西沖地震について ・白糠町の災害について知ろう（クイズ式） 庶路中　2.3 年生「北海道版～Ｄｏはぐ～」 ・Ｄｏはぐについて ・実践 東京大学大学院情報学環総合防災情報センター特任助教　定池　祐季　氏 庶路小 3.4 年生「目指せ！防災キッズ」 ・避難所を想定しながら、困りごと（問題になること）をテーマに、非常用避難袋に入っているアイテムを使って考え、提案しながら学びます。 釧路工業高等専門学校　建築学科教授　草苅　敏夫　氏 （白糠町防災アドバイザー） 庶路小 5 年生「大きなゆれから身を守ろう」 ・地震がどうして起きるのか ・液状化実験装置で学ぶ 釧路地方気象台　地震津波防災官　池田　達宏　氏 庶路小 6 年生「津波から身を守ろう」 ・津波の発生するメカニズムについて ・津波実験装置で引き波押し波について 釧路地方気象台　技術専門官　三浦　亜紀子　氏 庶路小 5.6 年生「アルファ米を作ってみよう」 ・食を通じた防災教育、身近な食をテーマにして災害時の食に対する関心を深める ・アルファ米について知ろう（調理） ・紙食器つくり ・いろいろある防災食 白糠町役場地域防災課地域防災係　森　　裕　美



■成　　果

（参加者からの意見）

・「自分の命は自分で守る」ということが防災で一番大切なこと。

・「津波はいち早く高台に逃げる」ことが大切。

・普段からお手伝いをすることで、人とコミュニケーションがとれ、災害時に声を掛け合うことができる。

・整理整頓をしておくことで、物がどこにあるのか確認できて、いち早く逃げることができるなど、日常で行っていることが災害時でも必要とされることを学んだ。

・簡単なことであるが、普段から身についていることが最も重要であることをわかった。

・防災食アルファ米は普段目にしないものであるが、だれでも簡単につくることができるため、災害時でも食事が取れることで健康維持につながることを学んだ。

・Ｄｏはぐでは、それぞれの抱える事情にどれだけ適切に対処していくことができるかが重要。

・問題に直面した時には、普段から協力し合えていることは災害時でも発揮することができる。

	その他、中学生からは、実際に災害が起こって避難所を運営する場合、沢山の苦労があること、どんどん人が押し寄せてくること、国籍が違う人が来たときにどうしたら良いのか、それでも避難所は開設して受け入れていかなければいけない、という現状について理解し、Ｄｏはぐを学んだことで実際の災害に備えたいという意見が多数聞かれた。